

# 今日よりぞゆ心を打ち捨てて人と成りにし道を踏みかき

## 自分にあった**高校式**の**学習法**を確立しよう！

授業の進み方が早く、内容も難しくなる高校の授業を、ちゃんと理解し実力をつけるためには、「授業の受け方(ノートの仕方)」「家庭学習時間の確保」がポイント！

1年生はもちろんのこと、2・3年生も、今までとは違う学習体勢を試し、自分にあった「**高校式の学習法**」を見つけよう！

## スキマ時間を活用しよう……時間がない……は空しい言い訳！

部活で時間がない……暖かくなって疲れる……とどんな言い訳をしても、やるべき事をやるべき時にキッチリやっていると、実力をつけるどころか授業について行けなくなってしまいます。そこで時間の有効な使い方学習時間を確保しよう！

1. 家に帰って必ず決まった時間に1時間は机に座る(習慣にすれば簡単なこと！)
2. 授業と授業の合間を有効に使う。(ノートで前時の復習・チラッと教科書で予習)
3. 週末にはまとめて復習(試験前の学習にも役立つ復習ノートを整理しよう)

## ノートを自分専用の「ずっと使える参考書」にしよう

見直したときに授業がよみがえらないノートは書く意味がない！ただ黒板を写すのがノートではない！自分の言葉で(口語でよい)自分が理解するために必要なことを書き込もう！授業内容を自分が説明するのに必要な情報はすべて書き込む！

### 何のためにノートをとるのか？

- 復習のため 授業の重要ポイントを思い出すきっかけになるのがノート
- 自分が分かりやすいように解釈を加える
- 教科書にない情報を付け加える
- 流れや関係性、優先順位などを分かりやすくする
- 週末の復習用にノートを整理すれば、そのままそれがテスト勉強になるぞ！

先生のように授業ができるかな？

## テストは後も大切 重要ポイントを再確認しよう！

間違った部分を訂正、解説を加えて「**間違ったノート**」を作っておくと、受験勉強にも役立ちます。人間は「忘れる動物」です。何度繰り返しても間違ったり忘れるのは当たり前、だからこそテストを利用して思い出しながら、ノートを書くことによって頭の中を整理しながら、実力として身につけていくのです。ただ点数をとるためだけでなく、今後役立つ様々のノウハウを身につけるために！

## 考查準備は2週間前から 学習計画を立てて！

今回の中間考查は、始まったばかりで範囲もそんなには多くないし、難易度もそれほど高くはないでしょう。しかし、実力を伸ばした高校生たちの多くは2週間前に学習をスタートしています。計画を表にし、確実に実行したかどうかを確認しながら十分な準備をし、納得のいく結果を手にはしています。キッチリやって、好スタートのきっかけにしよう！

### ポイント

- 教科書やノートにサーっと目を通し、分からない事、覚えてない事を抜き書きする
- それをもとに「やらなければならないこと」を書き出します
- 苦手なことから順に、いつ、何を、何時間 行うかを表にします
- 毎日計画を実行したかどうかを確認しながら実施

進路指導部 S.M.

## 1年生へ 高校最初の定期試験を無事に乗り切り、真の高校生に！

1学期中間考查[5/17(木)~22(火)]に向けての準備は開始していることと思います。スタディサポートのデータによりますと、高1秋に成績が良かった人の3割程度が2週間以上前から定期試験対策をスタートさせています。良い成績をとるためには早めに対策に取りかかることが大切だと言えそうです。

## 2年生へ 毎日の学習を振り返り、定期試験対策を怠るな！

2年生では、受験はまだ先のことと考えがちですが、この1年間の過ごし方が大切です。そこでまず、2年生春段階に身につけるべき学習習慣を考えてみました。スタディサポートのデータによりますと、難関国立大に合格した先輩達の約4割が「平日2時間以上」、約5割が「休日3時間以上」の学習をしているようです。また、彼らは予習や復習、宿題など、毎日の授業を中心とした自宅学習を行っていることがわかります。

## 3年生へ 大学入試も…就職試験も… 定期試験は全力で取り組み！

受験生として「基礎力養成期」の今、自分の実力を客観的に見つめ、弱点分野の克服を進めながら、現在学習中の範囲については、確実に理解していくようにしましょう(3年生の定期試験に求められる要件の1つ)。スタディサポートのデータによりますと、3年生スタート時点では、成績がよかった人の7割以上が受験勉強を始めています。ただ、ペースがつかめず不安や焦りを感じている人も多いようです。また、志望校など進路の決定状況を見てみると、迷っている人も多いようですが、成績がよかった人の方が目標を決定できている割合が多くなっています。受験勉強に集中するためにも、目的を明確にすることが大切だと言えそうです。また、就職試験は基礎学力を問うものですから、就職生も当然好成績を収める必要があります。